

函館市立幼稚園のあり方について（案）の修正箇所 新旧対照表

番号	ページ	項目	修正前	修正後																																
1	はじめに		<p>しかし、在園児数の減少は止まることなく進行し、このまま<u>公立</u>の幼稚園として運営を継続するのが適当なのかどうかを検討しなければならない状況となっています。</p> <p>なお、函館市行財政改革プラン2012において、市立幼稚園は「事務事業の見直しによる職員数の見直し」と「公共施設の抜本的見直し」の検討項目に挙げられ、「機能の必要性」の判断を平成28年度中に行うこととしております。</p> <p>函館市教育委員会では今後の市立幼稚園の方向性をまとめました。</p>	<p>しかし、在園児数の減少は止まることなく進行し、このまま<u>市立</u>幼稚園として運営を継続するのが適当なのかどうかを検討しなければならない状況となっています。</p> <p>なお、「<u>函館市行財政改革プラン2012</u>」において、市立幼稚園は「事務事業の見直しによる職員数の見直し」と「公共施設の抜本的見直し」の検討項目に挙げられ、「機能の必要性」の判断を平成28年度中に行うこととしております。</p> <p><u>このため</u>、函館市教育委員会では、<u>今後の市立幼稚園の方向性をまとめました。</u></p>																																
2	目次		<p>2 市立幼稚園の園児数の現状について (略)</p> <p>(4) 子ども・子育て支援制度と市立幼稚園</p>	<p>2 市立幼稚園の園児数等の現状について (略)</p> <p>(4) 子ども・子育て支援<u>新</u>制度と市立幼稚園</p>																																
3	2	2 市立幼稚園の園児数の現状について (1) はこだて幼稚園（定員100人）の園児数と定員充足率の推移	<p>2 市立幼稚園の園児数の現状について (H28年度を除き各年度5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>H28予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園児数計</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td rowspan="3">(略)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>充足率</td> <td></td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度		H28予定	園児数計		25	3歳児	(略)	8	4歳児	8	5歳児	9	充足率		25.0	<p>2 市立幼稚園の園児数等の現状について (各年度5月1日現在。<u>ただし、平成28年度は4月1日現在。</u>)</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園児数計</td> <td></td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td rowspan="3">(略)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>充足率(%)</td> <td></td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度		H28	園児数計		29	3歳児	(略)	10	4歳児	8	5歳児	11	充足率(%)		29.0
年度		H28予定																																		
園児数計		25																																		
3歳児	(略)	8																																		
4歳児		8																																		
5歳児		9																																		
充足率		25.0																																		
年度		H28																																		
園児数計		29																																		
3歳児	(略)	10																																		
4歳児		8																																		
5歳児		11																																		
充足率(%)		29.0																																		
4	2	2 市立幼稚園の園児数の現状について (2) 戸井幼稚園（定員120人）の園児数と定員充足率の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>H28予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園児数計</td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td rowspan="3">(略)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>充足率</td> <td></td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度		H28予定	園児数計		14	3歳児	(略)	7	4歳児	3	5歳児	4	充足率		11.7	<p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園児数計</td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td rowspan="3">(略)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>充足率(%)</td> <td></td> <td>12.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度		H28	園児数計		15	3歳児	(略)	8	4歳児	3	5歳児	4	充足率(%)		12.5
年度		H28予定																																		
園児数計		14																																		
3歳児	(略)	7																																		
4歳児		3																																		
5歳児		4																																		
充足率		11.7																																		
年度		H28																																		
園児数計		15																																		
3歳児	(略)	8																																		
4歳児		3																																		
5歳児		4																																		
充足率(%)		12.5																																		
5	3	2 市立幼稚園の園児数の現状について (4) 子ども・子育て支援新制度と市立幼稚園	<p>平成27年度より、子ども・子育て支援を総合的に推進することを目的とした新制度が開始されました。この制度では<u>公立・私立</u>幼稚園ともに、<u>施設型給付の対象となり</u>、それまでの園ごとに定められた<u>保育料</u>ではなく、<u>子ども・子育て事業実施自治体である函館市が定める所得に応じた階層区分に基づく利用者負担額（応能負担）</u>により保育料を決定することになったところです。</p>	<p>平成27年度より、子ども・子育て支援を総合的に推進することを目的とした新制度が開始されました。この制度では、<u>市立・私立</u>幼稚園ともに、それまでの園ごとに定められた<u>利用者負担額（以下、「保育料」という。）</u>ではなく、<u>市が定める所得に応じた階層区分に基づき</u>、保育料を決定することになったところです。</p>																																

番号	ページ	項目	修正前	修正後
6	3	2 市立幼稚園の園児数の現状について 3 (4) 子ども・子育て支援新制度と市立幼稚園	私立幼稚園は、この制度への移行・参画は任意とされておりますが、 <u>公立である市立幼稚園はこの制度への移行を義務づけられたものです。平成27年度に新制度へ移行した私立幼稚園は、市内22園中10園に達しております。</u>	私立幼稚園は、この制度への移行・参画は任意とされておりますが、 <u>市立幼稚園は、この制度への移行を義務づけられたものです。平成27年度以降、新制度へ移行した私立幼稚園は、市内22園中19園に達しております。</u>
7	3	2 市立幼稚園の園児数の現状について 3 (4) 子ども・子育て支援新制度と市立幼稚園	新制度への移行により、市立幼稚園2園を含む12園は、同じ保育料体系の中で運営されることになりました。このことにより、 <u>従来保護者が市立幼稚園を選択するうえでの重要な判断基準のひとつであった「私立と比較して低廉な保育料」といった優位性は失われました。したがって、保育料（利用者負担額）の点で、あえて市立幼稚園を選択する必要性はなくなったといえます。</u>	新制度への移行により、市立幼稚園2園を含む21園は、同じ保育料体系の中で運営されることになりました。このことにより、 <u>私立幼稚園と比較して低廉な保育料である市立幼稚園の優位性も失われております。</u>
8	3	2 市立幼稚園の園児数の現状について 3 (4) 子ども・子育て支援新制度と市立幼稚園	なお、国立の北海道教育大学附属函館幼稚園については、幼稚園教諭の育成や研究校として国が設置しているものであり、市（自治体）が新制度事業計画の下で整備する施設ではないことから、新制度および施設型給付の対象ではありません。したがって、同じ公立ではありますが、市立幼稚園とは別の存在意義があるものです。	(削除)
9	4	3 市立幼稚園の存廃について 4 (1) 現2園のこれまでの位置づけについて	ア 「はこだて幼稚園」については、幼稚園教育のモデル的な研究実践を行う研究センター的な役割を果たすことのできる必要最小限の園数規模として、旧函館地域の3園を集約したものです。	ア 「はこだて幼稚園」については、幼稚園教育のモデル的な研究実践を行う研究センター的な役割を果たすことのできる必要最小限の園数規模として、旧函館市域の3園を集約したものです。
10	4	3 市立幼稚園の存廃について 4 (2) はこだて幼稚園の存廃について	ウ 平成27年度からは、預かり保育の導入や週2日の給食の実施を行っておりますが、利用はあまり多くない状況にあります。	ウ 平成27年度からは、預かり保育の導入や週2日の給食の実施を行っておりますが、 <u>預かり保育</u> の利用はあまり多くない状況にあります。
11	4	3 市立幼稚園の存廃について 4 (2) はこだて幼稚園の存廃について	エ 幼稚園教育のモデル的な研究実践を行う研究センター的な役割に期待して、その教育内容に賛同する保護者は一定程度存在すると考えてきたところですが、平成21年に再編後、園児数は一度も定員を満たしていないうえ、新制度へ移行した平成27年においては、定員充足率は32%まで低下しました。この値は、前回再編検討時の平成18年度における日吉幼稚園・万年橋幼稚園の充足率を下回るものです。	エ 幼稚園教育のモデル的な研究実践を行う研究センター的な役割に期待して、その教育内容に賛同する保護者は一定程度存在すると考えてきたところですが、平成21年の再編以降、園児数は一度も定員を満たしていないうえ、新制度へ移行した平成27年度においては、定員充足率は32%まで低下しました。この値は、前回再編検討時の平成18年度における日吉幼稚園・万年橋幼稚園の充足率を下回るものです。
12	5	3 市立幼稚園の存廃について 5 (2) はこだて幼稚園の存廃について	オ 極めて少数の園児数により、効果的な研究実践が今後も行えるのかということとはもとより、その成果の発表の場である函館市幼稚園協会に参加する私立幼稚園は22園中16園にとどまることからその役割は低下してきております。	オ 極めて少数の園児数により、効果的な研究実践が今後も行えるのかということとはもとより、その成果の発表の場である「 <u>函館市幼稚園・こども園協会</u> 」に参加する私立幼稚園および私立認定こども園は、 <u>全市内41園中16園にとどまることから、その役割は低下してきております。</u>

番号	ページ	項目	修正前	修正後
13	5	3 市立幼稚園の存廃について (2) はこだて幼稚園の存廃について	カ 平成27年開始の新制度では、幼稚園と保育所の両機能を一体化した「こども園」の推進も制度の柱の一つであり、市内では7園のこども園が存在しています。こうした幼保一体の新しい形態を併せ持つ現在の幼児教育に対して、幼稚園機能しか持たない市立幼稚園には十分なリーダーシップを求めることはできないものと考えられます。	カ 平成27年開始の新制度では、幼稚園と保育所の両機能を一体化した「認定こども園」の推進も制度の柱の一つであり、市内では平成28年4月現在で31園の認定こども園が存在しています。こうした幼保一体の新しい形態を併せ持つ認定こども園が増加した環境にあって、保育所機能を有しない現在のほこだて幼稚園では、教育・保育両面での充実を図ることを目的とした子ども・子育て支援においては、先駆的な役割を果たすことがますます難しくなるものと考えられます。 また、近隣に認定こども園が複数存在することから、地域的な教育・保育の提供体制は確保されるものと考えられます。
14	5	3 市立幼稚園の存廃について (2) はこだて幼稚園の存廃について	キ 私立と比較して低廉な保育料という優位性も新制度への移行で失われました。 以上の点を踏まえると、公立の幼稚園として、ほこだて幼稚園を継続して運営することの意義は極めて薄いと判断せざるを得ない状況であり、従来論じられてきたその使命は終えたものと判断して差し支えなく、廃園はやむを得ないものと考えます。	キ 新制度への移行により、市立幼稚園は、他の園と同じ保育料体系の中で運営されることになりました。このことにより、市立幼稚園が選択される可能性は市民ニーズとして低くなっております。 以上の点を踏まえると、ほこだて幼稚園を市立幼稚園として継続して運営することは難しい状況であり、廃園はやむを得ないものと考えます。
15	5	3 市立幼稚園の存廃について (3) 戸井幼稚園の存廃について	以上の点を踏まえると、戸井幼稚園は当面運営を継続し、入園希望者がなくなった時点、あるいはそれに準ずる状態になった時点で募集停止、休・廃園の措置を講ずべきと考えます。	以上の点を踏まえると、戸井幼稚園は当面運営を継続し、入園希望者がなくなった時点、あるいはそれに準ずる状態になった時点、または周辺の教育・保育施設の受け入れ体制等の状況により、募集停止、休・廃園の措置を講ずべきと考えます。
16	6	4 今後の函館市の幼児教育について	函館市教育委員会といたしましては、市立幼稚園は戸井のみの1園となりますが、引き続き幼児教育の充実、水準向上に努めることを目指し、今後策定する函館市教育振興基本計画に幼児教育の取組みを位置づけてまいります。	函館市教育委員会といたしましては、市立幼稚園は戸井幼稚園のみの1園となりますが、引き続き、幼児教育の充実を努めることを目指し、今後策定する函館市教育振興基本計画に幼児教育の取組みを位置づけてまいります。
17	6	4 今後の函館市の幼児教育について	また、これまではほこだて幼稚園が担ってきた幼小連絡協議会事務局の役割を引き継ぐとともに、子ども未来部と連携を図りながら、研修や教育相談の実施の他、各園での保育や教育活動をサポートする取り組みを行ってまいりたいと考えております。	また、ほこだて幼稚園がこれまで担ってきた「函館市幼稚園・こども園、小学校連絡協議会」の事務局等における役割や長年培ってきた幼児教育における理念等を発展的に引き継ぐとともに、私立幼稚園、保育所、認定こども園および子育てサロン等を所管する子ども未来部と連携を図りながら、研修や教育・保育相談の実施の他、様々な教育・保育に関する活動をサポートする取り組みを行ってまいりたいと考えております。
18	6	4 今後の函館市の幼児教育について	そのためには、函館市全体の幼児教育のセンター機能の構築が大切であることから、今後においては、南北海道教育センターにその機能を付加するなど、保育相談、幼小連携、研修などの充実を図るための体制づくりについて検討するものとしします。	そのためには、市全体の幼児教育のセンター機能の構築が大切であることから、今後においては、南北海道教育センターにその機能を付加するなど、教育・保育に関する相談、幼小連携および研修などの充実を図るための体制づくりについて検討するものとしします。

※上記のほか、数字の全角・半角を整理した。